

日本宗教学会

第46回学術大会

期 日 1987年9月16日(水)～18日(金)

会 場 立 教 大 学

東京都豊島区西池袋三丁目

— お知らせ・お願い —

1. 受付で名札と発表要旨集をお受け取りください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっています。発表時間の厳守をお願い致します。
5. 研究発表のレジメ（1,600字程度）を部会責任者にお渡し下さい。
（9月18日午後4時締め切り。以後は一切受け付けませんので御注意下さい。）
6. 荷物は所定のクロークを御利用下さい。
7. 学内には昼食の準備はございませんので、適宜近辺でおとり下さいますようお願い致します。
8. 9月17日、18日の大会本部への電話連絡は次の番号を御使用下さい。

TEL (03)985—2428

日 程

9月16日(水)

学会賞選考委員会		12:00~14:00
「宗教研究」編集委員会		17:00~18:00
公開講演会	(タッカーホール)	15:00~17:00
ふたつの出会い		
一東と西・宗教と音楽	立教大学教授	皆川達夫
理事会	(白雲閣)	17:30~19:30

9月17日(木)

開 会 式	(5号館1階5123教室)	9:30~10:00
研 究 発 表	(5号館3階各教室)	10:00~12:00
評 議 員 会	(5号館1階5123教室)	12:00~13:00
研 究 発 表	(5号館3階各教室)	13:30~17:00

9月18日(金)

研 究 発 表	(5号館3階各教室)	9:30~12:00
評議員選考委員会	(白雲閣)	12:00~13:30
「宗教研究」編集委員会		12:00~13:00
研 究 発 表	(5号館3階各教室)	13:30~16:10
総会・閉会式	(5号館1階5123教室)	16:20~17:40
懇 親 会	(ホテル・メトロポリタン)	18:00~20:00

第 1 部会 (5301教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 体験と共同性 | 島田 裕 巳 (放送教育開発センター) |
| 2. 動物の宗教的象徴性: 豚 | 松村 一 男 (日本学術振興会) |
| 3. メタファーと宗教研究 | 小松 加代子 (筑波大) |
| 4. 宗教とメタファー的思考 | 小野 泰 博 (図書館情報大) |
| 5. メタファーとしての宗教 | 井門 富二夫 (筑波大) |
| 6. 宗教象徴と操作 | 池田 昭 (中京大) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 7. 宗教と性 | 大越 愛 子 (京都産大) |
| 8. オットーにおける“Gefühl”の意味 | 加藤 浩 二 (東北大) |
| 9. G.メイシングにおける「大衆宗教」について | 華園 聰 麿 (東北大) |
| 10. 原型について—ユングとエリアーデの形態論— | 磯田 富 夫 (大正大) |
| 11. エリアーデのライフモデル | 中村 恭 子 (川村短大) |
| 12. デュルケムにおける道徳と宗教について (3) | 山崎 亮 (東北大) |
| 13. 大衆仏教の宗教社会学的研究 | 千明 東 道 (妙観文庫研) |
| 14. 物外・三好愛吉について | 松本 皓 一 (駒大) |
| 15. L. トルストイの宗教思想を米英の研究者はどうとらえているか | 久我 光 雲 (法大) |
| 16. 法然と親鸞との宗教学的異質性 | 玉城 康四郎 (東大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 17. 修業とイメージロヨラの「靈操」の心理学的分析— | 河東 仁 (東女大) |
| 18. W. ジェイムズにおける〈意識の流れ〉について | 小坂 国 継 (日大) |
| 19. 恥と罪—E. H. エリクソンの理論を中心に— | 西垣 二 一 (聖和大) |
| 20. 自我境界をめぐる問題—その宗教心理学的意味— | 森岡 正 芳 (天理大) |
| 21. 精神分析の儀礼的構造 | 安藤 泰 至 (米子高専) |
| 22. 「魂は本性的に宗教的である」というユングの命題について | 渡辺 学 (筑波大) |
| 23. ユングにおける自我の宇宙創造的意識について | 垂谷 茂 弘 (京大) |
| 24. 覚における他者の役割 | 土井 道 子 |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 25. J. ヒックの宗教的多元論の問題点について | 尾崎 誠 (東洋哲学研) |
| 26. 浄土教における「宗教の神学」(2) | 高田 信 良 (龍大) |
| 27. 方法としての多神教 | 山折 哲 雄 (歴博) |
| 28. 宗教学的方法としての生態学 | 関 一 敏 (筑波大) |
| 29. 信仰のコンテクストと理解 | 澤井 義 次 (天理大) |
| 30. M. ウェーバーと宗教進化論 | 金井 新 二 (東大) |
| 31. カリスマの制度化と継承 | 金井 新 二 (東大) |
| 32. 人間文化と宗教の形成・成熟・離退 | 川村 邦 光 |
| | 佐木 秋 夫 |

第 2 部 会 (5302教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. ヘルダーリンの後期作品の特徴 | 長 井 英 子 (関 東 学 院 大) |
| 2. ヘルダーリンとヘーゲル | 藤 田 正 勝 (名 城 大) |
| 3. ヘーゲル精神現象学V 理性とVI精神の断絶と連続 | 金 谷 佳 一 (成 蹊 高) |
| 4. ヘーゲル左派によるキリスト教批判の諸相—(5)— | 寺 田 ひろ子 |
| 5. 初期ヘーゲルにおける宗教と諸宗教について | 管 井 大 果 (甲 子 園 短 大) |
| 6. ヘーゲルと『ハムレット』II—懐疑と信— | 門 脇 健 (大 谷 大) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 7. 内的自然について—フォイエルバッハとホルクハイマー— | 河 上 睦 子 (相 模 女 子) |
| 8. ティルタイにおける生と認識 | 小 松 洋 一 (金 沢 女 短 大) |
| 9. ベルクソンにおける「静的宗教」としての神話論 | 武 田 武 麿 (大 谷 大) |
| 10. ベルクソンの宗教論について | 棚 次 正 和 (仏 教 大) |
| 11. ニーチェにおけるソクラテスの問題 | 中 路 正 恒 (郡 山 女 大) |
| 12. 四方域 (Geviert) における有論的差異の問題 | 神 尾 和 寿 (京 大) |
| 13. 実存論的分析論と超越論的哲学—超越への問題をめぐって— | 仲 原 孝 (京 大) |
| 14. レッシングにおける歴史の問題 | 安 酸 敏 眞 |
| 15. 「時間」についての一考察 | 木 村 登 次 (愛 知 学 院 大) |
| 16. 息の根 | 松 山 康 國 (関 西 学 院 大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 17. デカルトのアウグスティヌス主義 | 道 舂 滋 穂 子 (早 大) |
| 18. ライプニッツにおける身体について | 岡 部 英 男 (早 大) |
| 19. ライプニッツの个体論 | 高 瀬 正 宏 (早 大) |
| 20. ライプニッツの「鏡」の比喩について | 山 下 豊 (関 西 学 院 大) |
| 21. スピノザにおける自由と認識 | 安 中 隆 徳 (産 業 能 率 大) |
| 22. I. カントにおける自律としての自由 | 保 呂 篤 彦 (筑 波 大) |
| 23. 後期シェリングにおける神の認識の問題について | 諸 岡 道 比 古 (弘 前 大) |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 24. ロジャー・ベーコンにおける神学の方法について | 降 旗 芳 彦 (早 大) |
| 25. パークリと靈魂不死説 | 酒 井 サヤカ (日 本 歯 大) |
| 26. イギリス理神論のドイツ波及をめぐって | 玉 井 実 (東 京 工 芸 大) |
| 27. 宗教的懐疑について | 細 谷 昌 志 (大 阪 外 大) |
| 28. 経験論の系譜とデューイの哲学及び芸術論、宗教論 | 鑑 本 光 信 (中 国 新 聞 文 化 セ ン タ ー) |
| 29. 平均的日常性に於ける暫定的主体性 | 石 倉 順 一 (京 大) |
| 30. ローマ的宗教と哲学的宗教 | 中 島 秀 憲 (西 山 短 大) |
| 31. 関係的思惟の種々相 | 澤 井 濤 哉 (立 大) |

第 3 部 会 (5303教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. バルトの神学的倫理学について | 大 島 末 男 (広 島 工 大) |
| 2. カール・バルトの『ロマ書』(第1版)における「信仰」について | 佐々木 徹 (東 北 大) |
| 3. K. バルトのイスラエル理解 | 掛 川 富 康 (明 治 学 院 大) |
| 4. キリスト教女性神学研究の分類と展開 | 一 色 義 子 (東 神 大) |
| 5. S. キルケゴールにおけるヘーゲル『美学講義』の影響 | 平 林 孝 裕 (筑 波 大) |
| 6. ウェスレーのキリスト論：人性と神性について | 野 村 誠 (長崎ウェスレヤン短大) |
| 7. 如来の三身と三位一体の神 | 野々山 宏 (京都国際瞑想文化研) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------|
| 8. 滝沢インマヌエル論の検討 | 松 岡 由香子 (愛 知 大) |
| 9. キルケゴールにおける神の現存在 | 長 谷 修 孝 (法 政 大) |
| 10. キルケゴールの社会観 | 国 井 哲 義 (大 阪 工 大) |
| 11. キルケゴールにおける真剣さと現実性 | 山 中 利 美 (名 古 屋 学 院 大) |
| 12. キルケゴールにおける宗教的意識の諸段階 | 北 田 勝 巳 (大 阪 電 通 大) |
| 13. キルケゴールにおける「キリストへの倣い(Nachfolge)」 | 荒 井 優 (愛 知 大) |
| 14. キルケゴールにおける殉教者の理念 | 西 倉 直 樹 (東 北 大) |
| 15. レッシングとキルケゴール | 谷 口 郁 夫 (法 政 大) |
| 16. P. ティリッヒにおけるデモーニックなもの | 城 戸 裕 子 (大 正 大) |
| 17. ティリッヒ『組織神学』(1)―その方法と構造に関する一考察― | 日下部 哲 夫 (大 正 大) |
| 18. P. ティリッヒとキリスト論の問題 | 芦 名 定 道 (京 大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 19. 出エジプト記四1~9について | 定 形 日佐雄 (プール学院短大) |
| 20. 禪とキリスト教―ヨブにおける信仰的良心― | 名木田 薫 (岡 山 理 大) |
| 21. ベンヤミンにおける救済の論理 | 上 利 博 規 (東 大) |
| 22. シュライエルマッハーの初期キリスト論―ランツベルク時代(三)― | 長 江 弘 晃 (日 大) |
| 23. W. パンネンベルクの神学における人間学の位置 | 浅 見 洋 (石 川 工 高 専) |
| 24. マールブランシュにおける神と人間 | 辻 智 之 (関 西 学 院 大) |
| 25. 「ブルトマンとバルト研究」序説―その最初の出会いをめぐる― | 熊 澤 義 宣 (東 神 大) |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|---|---------------------|
| 26. 聖書の贖罪精神とヒロイズム―新英訳聖書を中心として― | 木 原 範 恭 (近 大) |
| 27. オリゲネスにおける魔術理解をめぐる | 出 村 みや子 (明 治 学 院 大) |
| 28. アレイオスとメリティオス派 | 水 垣 涉 (京 大) |
| 29. ペトルス・ダミアニのsancta simplicitasについて | 矢 内 義 顕 (神 田 外 大) |
| 30. アンセルムスにおける宗教と対話 | 古 田 暁 (神 田 外 大) |
| 31. ボナヴェントウラの範型論 | 笠 井 貞 (群 馬 大) |
| 32. クザーヌスの「対立物の一致 (coincidentia oppositorum)」について | 山 下 一 道 (芦 屋 大) |
| 33. J. J. スュランの悪魔体験と神体験 | 鶴 岡 賀 雄 (工 学 院 大) |

第 4 部 会 (5304教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 仏教における少欲知足について | 春日 禮 智 |
| 2. 虚妄分別の無相について | 難波 宏行 (高野山 大) |
| 3. 初期仏教經典の編集形態について | 森 章 司 (東洋 大) |
| 4. 大乘仏教における經典から論書への転換 | 久保田 力 (東北 大) |
| 5. タイ仏典『トライプーミカター』と上座部仏教經典 | 宇治谷 颯 (名古屋音 大) |
| 6. 『群疑論見聞』について | 金子 寛 哉 (大正 大) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 7. ヴェーダ聖典の命令と神—ウダヤナの儀軌論をめぐって— | 丸井 浩 (東方研究会) |
| 8. マンダナミシュラによるniyoga説批判 | 吉水 清 孝 (東大) |
| 9. クルクッラー女神について | 島田 茂 樹 |
| 10. Isibhāsiyāim 第20章—ukkalāについて— | 煎本 信行 (大谷 大) |
| 11. 梵網經諸注釈書の流れ | 吉津 宜 英 (駒大) |
| 12. 支謙の義訳語について | 勝崎 裕 彦 (大正 大) |
| 13. 智儼における『搜玄記』撰述の背景について | 織田 颯 祐 (大谷 大) |
| 14. 北宋後期における居士仏教 | 長谷川 昌 弘 (愛知女短 大) |
| 15. 「白花道場発願文」について | 木村 清 孝 (東大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|--|---------------|
| 16. 原始仏教に於ける無明 (avijjā) の語義に就いて | 服部 弘 端 (浄心学院) |
| 17. “Abhidharma” の語義解釈をめぐって | 田崎 國 彦 |
| 18. Dharmakīrti における pramāṇa と pratyakṣa | 山本 和 彦 (大谷 大) |
| 19. Haribhadra—suri のヨーガ観 ② | 浅野 玄 誠 (大谷 大) |
| 20. 瑜伽行派の物質観をめぐる問題 | 加藤 利 生 (龍大) |
| 21. 『瑜伽論』波羅蜜説に対する先行諸経論の影響について | 清水 海 隆 (立正 大) |
| 22. 初期唯識学派における種子説につきて | 上田 愉美子 (龍大) |
| 23. 『五事毘婆沙論』の著者について | 池田 練太郎 (駒大) |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 24. 『現觀莊嚴論』所説の20種のブドガラ | 高田 順 仁 (大谷 大) |
| 25. 『楞伽經』中に見られる「宗説二通」の問題 | 和田 真 二 |
| 26. 『菩薩善戒經』序品に示される受戒法について | 齋藤 舜 健 (仏教 大) |
| 27. 〈無量寿經〉における菩薩思想について | 小林 良 信 (大正 正 大) |
| 28. 華嚴に於ける相即の論理 | 石橋 眞 誠 (京都文教短 大) |
| 29. 華嚴教学における菩薩の行位について—法蔵の所説を中心に— | 一色 順 心 (大谷 大) |
| 30. 『六祖壇經』の五本、七冊について (三) | 長嶋 孝 行 (国会図書館) |
| 31. 慧思における懺悔滅罪について | 安達 善 教 (仏教 大) |

第 5 部 会 (5305教室)

9月17日(休) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 源信における観心と念仏 | 宮 敏 子 (東北生活文化大) |
| 2. 流通分法と浄土教について | 橋 本 芳 契 (北陸学院短大) |
| 3. 法然門流における西山義と鎮西義との対論 | 広 川 堯 敏 (大 正 大) |
| 4. 浄土教徒の社会的実践 | 菱 木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 5. 「十二箇条問答」における本願思想 | 久米原 恒 久 (大 正 大) |
| 6. 「一言芳談」にみる仏道、習道観 | 新 保 哲 (都立上野高) |

9月17日(休) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 7. 専修念仏宗へのスキャンダルと法難 | 林 淳 (愛知学院大) |
| 8. 現存坂東本『教行信証』の欠落、欠損部分について | 鳥 越 正 道 (大 谷 大) |
| 9. 親鸞の『如来二種廻向文』についての一考察 | 五十嵐 大 策 (東京仏教学院) |
| 10. 親鸞の二種回向論 | 寺 川 俊 昭 (大 谷 大) |
| 11. 親鸞における二種法身論展開の民俗的背景 | 阿 満 利 麿 (明治学院大) |
| 12. 源空門下の『選択集』相承の独自性—真宗・西山・鎮西について— | 柳 瀬 彰 弘 (啓光学園高) |
| 13. 妙好人浅原才市のノートの編年史的研究 | 佐 藤 平 (大 谷 女 大) |
| 14. 道元思想における主体について | 岡 島 秀 隆 (愛知学院大) |
| 15. 『正法眼蔵』における尽大地について | 粟 谷 良 道 (曹洞宗宗学研) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 16. 『観無量寿経』所説の三福と『歎異抄』について | 田 代 俊 孝 (同 朋 大) |
| 17. 『教行信証』信巻にみられる「慚愧」の語につきて | 徳 永 大 信 (九州龍谷短大) |
| 18. 『理趣経法』について | 佐 藤 正 伸 (高 野 山 大) |
| 19. 『真言付法伝』をめぐる | 苜米地 誠 一 (大 正 大) |
| 20. 金剛・胎蔵両マングラに示された宝珠と宝瓶 | 八 田 幸 雄 (関西学院大) |
| 21. 子島曼荼羅と多種信仰 | 横 地 清 恵 |
| 22. 四種曼荼羅の解釈 | 松 長 有 慶 (高 野 山 大) |
| 23. 密教の即身成仏考—身体論的アプローチ— | 環 栄 賢 |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 24. 悟りと反省 | 岩 村 康 夫 (正 眼 短 大) |
| 25. 『禅茶録』の一考察 | 金 子 和 弘 (曹洞宗宗学研) |
| 26. 白隠禅の修行について | 西 村 恵 信 (花 園 大) |
| 27. 法華行者の修行過程と秘儀の伝授 | 杉 井 純 一 (駒 大) |
| 28. 日蓮における法華経の人格化の問題 | 北 川 前 肇 (立 正 大) |
| 29. 日蓮における宗教的罪の問題—釈尊の人格性と罪業意識— | 原 慎 定 (立 正 大) |
| 30. 日蓮宗僧の教義継承活動をめぐって | 寺 尾 英 智 (立 正 大) |
| 31. 国家神道による日蓮宗批判 | 小 野 文 瑠 (立 正 大) |

第 6 部 会 (5306教室)

9月17日(休) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 仏教における利他性について—鎌倉時代の南都仏教を中心として— | 楠 淳 證 (龍 大) |
| 2. 明恵の仏光観 | 柴 崎 照 和 |
| 3. 了庵慧明の最乗寺開創期に関する一考察 | 熊 本 英 人 (駒 大) |
| 4. 知足院悟阿について | 坂 上 雅 翁 (淑 徳 短 大) |
| 5. 梵字キャンkham信仰の研究 | 齋 藤 彦 松 (梵 字 資 料 研) |
| 6. 中世の清浄観の一考察 | 大 垣 豊 隆 (神 宮 研 修 所) |
| 7. 哲学的懺悔 (さんげ) と宗教的懺悔 (さんげ) | 田 辺 正 英 (富 山 医 薬 大) |

9月17日(休) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 8. 西田哲学における「絶対自由の意志」と極限概念 | 岡 廣 二 (十 文 字 学 園) |
| 9. 西田哲学の「場所」について | 中 山 一 萱 (京 都 産 大) |
| 10. 西田幾多郎の「歴史的事実の世界」 | 高 坂 史 朗 (近 大) |
| 11. 西田哲学における「論理」の問題 | 松 丸 壽 雄 (花 園 大) |
| 12. 絶対無の動態論 | 遠 山 諦 虔 (日 大) |
| 13. 至誠心の構造 | 宮 田 正 深 (同 朋 大) |
| 14. 諏訪縁起の時間構造 | 島 田 潔 (国 学 院 大) |
| 15. 記紀神話形成期における「柱」祭祀の意義—神の助数詞との関連で— | 三 橋 正 (大 正 大) |
| 16. 『丹生氏本系帳』についての一考察 | 門 屋 温 (早 大) |
| 17. 公事根源における神道観 | 白 山 芳 太 郎 (皇 学 館 大) |

9月18日(休) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 18. 神仏関係論 | 渡 部 真 弓 (国 学 院 大) |
| 19. 平安時代宮廷における神仏関係の一考察 | 佐 藤 真 人 (国 学 院 大) |
| 20. 吉田松陰と仏教 | 石 川 教 張 (東 京 立 正 女 短 大) |
| 21. 近代真宗における神道観 | 藤 井 健 志 (東 京 学 芸 大) |
| 22. 日葡辞書にみられる神道語について | 三 橋 健 (国 学 院 大) |
| 23. マテオ・リッチとの比較を通して見た平田篤胤の穢の概念について | 栗 田 英 二 (九 大) |
| 24. 養鶴徹定の『釈教正謬』批判—仏基の討論 (2)— | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大) |

9月18日(休) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 25. 山王三聖の法号について | 菅 原 信 海 (早 大) |
| 26. 祝詞の概念をめぐって | 金 子 善 光 (国 学 院 大) |
| 27. 奈良時代の大嘗祭 | 高 森 明 勅 (国 学 院 大) |
| 28. 稲のチカラ | 小 堀 邦 夫 (神 宮 研 修 所) |
| 29. 慈円の夢 | 谷 口 茂 (明 治 学 院 大) |
| 30. 三浦浄心『慶長見聞集』における類落観について | 丸 茂 湛 祥 (大 正 大) |
| 31. 神道五部書の成立 | 鎌 田 純 一 (皇 学 館 大) |

第 7 部 会 (5307教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|---------------------------------------|----------------|
| 1. 「首無地蔵」信仰形成のメカニズム | 鈴木岩弓(島根大) |
| 2. 1960年代アメリカの東洋宗教—A. ワッツの自叙伝を手掛りとして— | 木村武史(筑波大) |
| 3. ユダヤ教における「イサクの犠牲」の継承 | 市川裕(筑波大) |
| 4. シュール・ハンマー氏の「山伏」について | 根井浄(神戸常盤短大) |
| 5. 花祭にみる神話的側面 | 春日井真英(東海学園女短大) |
| 6. 高野山の修正会 | 日野西真定(高野山大) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 7. 円光大師二十五霊場巡拝記の一問題 | 山本博子(仏教大) |
| 8. 物語と巡礼—その宗教意識の相違— | 中村生雄(愛知大) |
| 9. 「琉球国由来記」にみえる中央と周辺の問題 | 安達義弘(九大) |
| 10. 「仏教人類学」考(II) | 片山一良(駒大) |
| 11. 農耕女神考 | 山崎美恵(鷗友学園) |
| 12. 韓国仏教寺院における山神の一考察 | 金漢益(駒大) |
| 13. 東方典礼にみる死者の位置 | 尾田泰彦(大正大) |
| 14. 密教と禁忌 | 月光善弘(山形女短大) |
| 15. ChannelerのInitiationについて | 櫻井徳太郎(駒大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 16. イスラムと歴史 | 小田淑子(東大) |
| 17. イスラーム神秘思想における終末の理解 | 鎌田繁(東大) |
| 18. イスラームにおける断食について | 澤井義則(天理大) |
| 19. 奉教士人徐光啓の思想 | 星宮智光(聖母女学院短大) |
| 20. 古代ギリシャのテミスについて | 保坂幸博(東海大) |
| 21. プラトン来世神話に儀礼の要素はあるか? | 丸野稔(早大) |
| 22. 中国古代における「齋」について | 栗原圭介(大東文化大) |
| 23. 中国古代における地母神—『楚辞』天問を中心とした一考察— | 森雅子(慶大) |

9月18日(金) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|---------------------------------------|----------------|
| 24. 合法化された—貫道 | 岡田栄照 |
| 25. ユダヤ史におけるメシア運動について—シャブタイ・ツヴィー— | 黒川知文(明治学院大) |
| 26. ゴロアスター教における改宗の問題について | 中別府温和(西南女学院短大) |
| 27. 東南アジア大陸部に於ける宮廷儀礼研究序説 | 浜田哲也(東大) |
| 28. 宗教集団の形成—合衆国奴隷制度下の黒人の宗教を例にとつて— | 佐藤睦子 |
| 29. フォーク・レリジョンとしての絵馬—絵馬とex-votoの比較研究— | 岩井洋(上智大) |
| 30. タミル仏教叙事詩マニメーハライについて(3) | 彦坂周(アジア文化研) |

第 8 部 会 (5323教室)

9月17日(木) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 十月のホトケ祭祀とその存立基盤—陸中山田町の事例を中心に— | 佐 島 隆 (東 北 大) |
| 2. 但馬国中村の真宗と道場 | 菊 池 武 (大 谷 大) |
| 3. 京都本法寺蔵「末寺住持之制法」にみる本末機構について | 糸 久 宝 賢 (立 正 大) |
| 4. 生駒山系における瀧行場の変遷について | 日 野 謙 一 (兵 庫 医 大) |
| 5. みず子供養にみる現世利益の問題 | 大 西 登 (東 京 工 芸 大) |
| 6. みず子供養にみる靈魂の問題 | 神 原 和 子 (東 京 工 芸 大) |
| 7. みず子供養にみる宗教性の問題 | 岩 本 一 夫 (東 京 工 芸 大) |

9月17日(木) 午後(13:30~17:00)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 8. 仏教と人神型信仰—禅宗寺院の事例を中心として— | 山 岡 隆 晃 (駒 大) |
| 9. 昭和60年『曹洞宗宗勢総合調査』について | 菅 原 寿 清 (駒 大) |
| 10. 大正期の都内葬儀の変化 | 村 上 興 匡 (東 大) |
| 11. 長崎市内家野町のカクレキリシタンの現状について | 宮 崎 賢 太 郎 (長 崎 純 心 女 短 大) |
| 12. 熊野地方における仏教諸宗の展開 (一) | 竹 内 堅 丈 (愛 知 学 院 大) |
| 13. 熊野地方における仏教諸宗の展開 (二) | 佐 藤 悦 成 (愛 知 学 院 短 大) |
| 14. 熊野師檀関係の地域変差について | 石 倉 孝 祐 (国 学 院 大) |
| 15. 鳥羽市河内町における同族信仰の実態 | 川 上 光 代 (南 山 大) |
| 16. 齋忌観念と盆行事—三重県志摩郡の事例を通して— | 八 幡 崇 経 (皇 学 館 大) |
| 17. 志摩の民俗宗教 | 赤 池 憲 昭 (愛 知 学 院 大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 18. 人麻呂の時代区分意識 | 伊 藤 益 (東 北 歯 大) |
| 19. 王朝文学にみられる宗教性 | 高 木 きよ子 (東 洋 大) |
| 20. 本居宣長の言語観—その形成基盤に関する一考察— | 森 端 枝 (国 学 院 大) |
| 21. 泉鏡花の幻想物語—その宗教意識— | 椿 実 (江 戸 川 区 教 育 研) |
| 22. 折口信夫の身体感覚—折口鎮魂説と遥空短歌の発想源— | 津 城 寛 文 (東 大) |
| 23. リルケと天使 | 阿 部 秀 男 (北 海 道 教 育 大) |
| 24. 教団と政治—情報公開条例利用による研究の一方法— | 佐 久 間 光 昭 |
| 25. 現代における電話による人生相談とその宗教的意義 | 佐 村 隆 英 (仏 教 情 報 セ ン タ ー) |

9月18日(金) 午後13:30~16:10)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 26. 宗教的情操の涵養—昭和10年の宗教教育協議会— | 家 塚 高 志 (東 京 高 専) |
| 27. 宗教的情操と社会科2 | 永 井 隆 正 (浄 土 宗 学 研) |
| 28. 聖イグナチオの宗教体験と学校教育案 | 小 林 紀 由 (日 大) |
| 29. キリスト教大学の理念 | 雨 貝 行 鷹 (東 北 学 院 大) |
| 30. 太田教尊の勅語衍義書をめぐって | 三 宅 守 常 (日 大) |
| 31. 宗門大学における仏教教育の実際 | 早 島 鏡 正 (武 蔵 野 女 大) |
| 32. デス・エデュケーションと宗教教育 | 西 田 隆 男 (自 由 の 森 学 園) |
| 33. 現代の意味—R. シュタイナーへのレファレンス— | 結 城 敏 也 (I C U) |

第 9 部 会 (5324教室)

9月17日(休) 午前(10:00~12:00)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 都市化と神社 | 石 井 研 士 (東 大) |
| 2. 高野山の会社供養塔 | 中 牧 弘 允 (民 博) |
| 3. 木曾御嶽信仰と「霊神碑」の問題 | 高 橋 涉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 4. 修験道における正統と異端 | 宮 家 準 (慶 大) |
| 5. 沖縄地方における神人消長の動態 | 池 上 良 正 (弘 前 大) |
| 6. 扶乩について | 窪 徳 忠 (駒 大) |

9月17日(休) 午後(13:30~17:00)

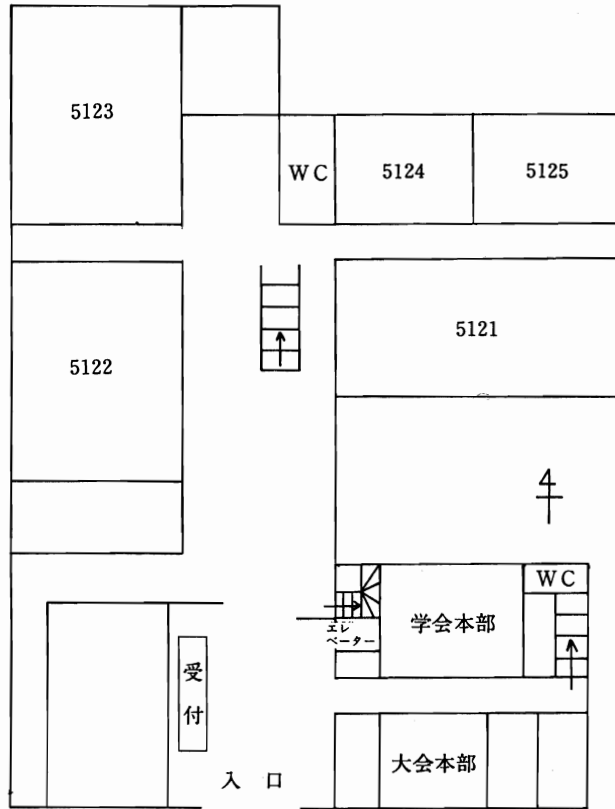
- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 7. 禅宗寺院の鎮座祭について—豊川稻荷を中心にして— | 渡 辺 正 英 (駒 大 高) |
| 8. 「ミッション・スクール」の教職員の意識調査から—その2— | 北 川 直 利 (聖 霊 女 短 大 付 高) |
| 9. 空のパイと大地の草—ラスタファリ運動の救済観をめぐって— | 長 嶋 佳 子 (民 博) |
| 10. 「サニワ (審神者)」の呪術・宗教的性格について | 佐 藤 憲 昭 (駒 大) |
| 11. 南インドの神概念—テイタムとブーター | 河 野 亮 仙 (大 正 大) |
| 12. NSMにおける態度変容 | 大 久 保 雅 行 行 (久 留 米 大) |
| 13. ぶどう絞り機の中に立つキリストの凶像について | 田 島 照 久 (早 大) |
| 14. キリスト教国の華人宗教—フィリピン・マニラ市の事例から— | 佐 々 木 宏 幹 (駒 大) |
| 15. アメリカの墓地と慰霊形態 | 藤 井 正 雄 (大 正 大) |
| 16. 五月花嫁の習俗について | 植 田 重 雄 (早 大) |

9月18日(金) 午前(9:30~12:00)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 17. 道元・親鸞・日蓮の涅槃経受容 | 関 戸 堯 海 (立 正 大) |
| 18. 蒙袭来襲期における仏教新宗教運動 | 笠 井 正 弘 (西 日 本 短 大) |
| 19. 新宗教の信仰構造の変容 | 島 藪 進 (東 大) |
| 20. 聖地のトポロジー—浄土と神国について— | 鎌 田 東 二 (国 学 院 大) |
| 21. 前世紀末葉のカトリック司祭像の特徴 | 青 山 玄 (南 山 大) |
| 22. ヴェネズエラのホセ・グレゴリオ—大衆社会における聖人の誕生— | 荒 井 芳 廣 (幾 徳 工 大) |
| 23. 部族宗教と普遍宗教—西アフリカの事例から— | 竹 沢 尚 一 郎 (東 大) |
| 24. 神論における相対主義と絶対主義 | 小 川 圭 治 (筑 波 大) |

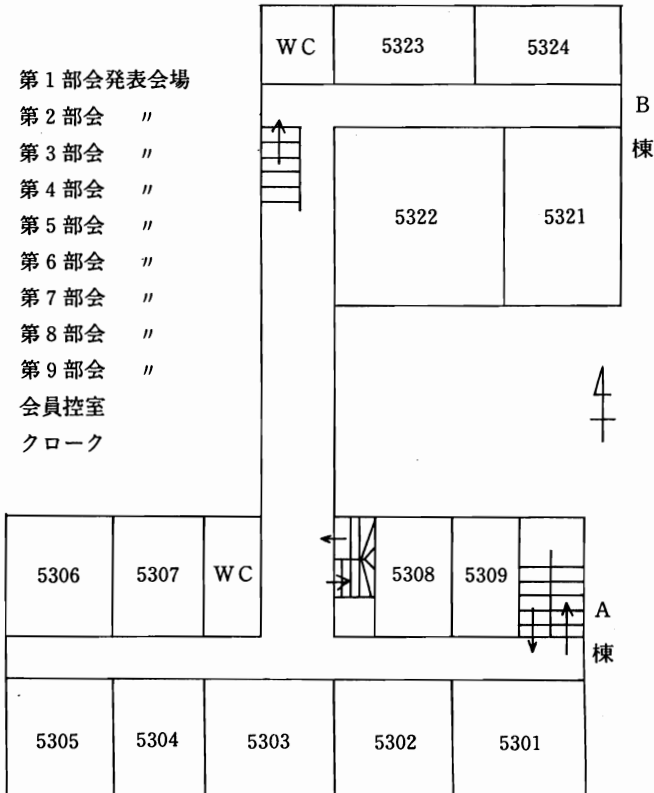
5号館1階 案内図

開会式、評議員会、
総会ならびに閉会式
の会場は5123教室で
す。



5号館3階 教室案内図

- 5301 第1部会発表会場
- 5302 第2部会 "
- 5303 第3部会 "
- 5304 第4部会 "
- 5305 第5部会 "
- 5306 第6部会 "
- 5307 第7部会 "
- 5323 第8部会 "
- 5324 第9部会 "
- 5321 会員控室
- 5322 クローク



立教大学周辺図 (駅より 徒歩約7分)

